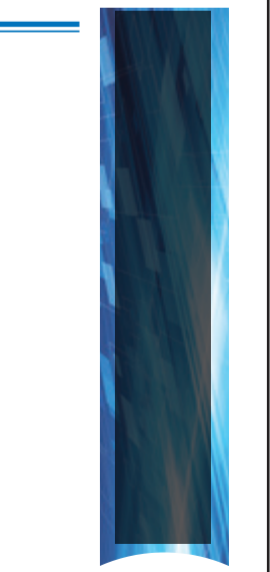
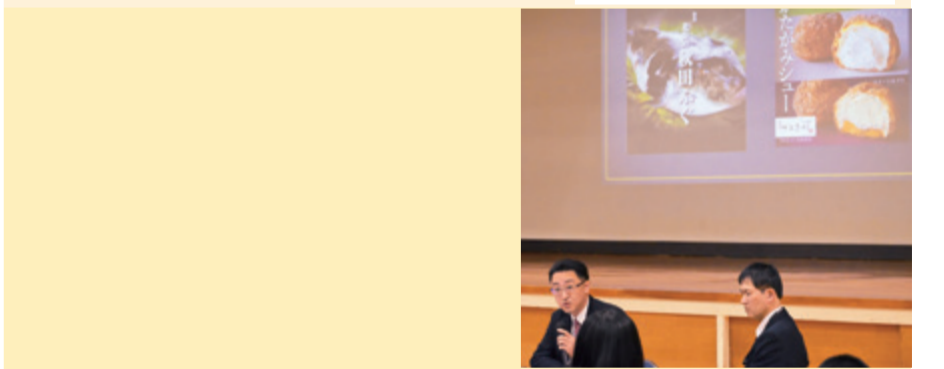


This central layout area is a collage of various elements. At the top, there are two orange exclamation mark icons. Below them is a large light blue rectangular area containing a portrait of a woman with glasses and a white face mask. To the right of this area are three pie charts, each with a different color scheme (pink, blue, green). Below the pie charts are several photographs: one of students in a gymnasium, one of students on a sandy beach, and one of students working in a garden. The layout is decorated with various colored bars, circles, and abstract shapes in shades of teal, blue, and yellow.



制服一新に向け 準備中

令和 8 年度入学生から

男子もブレザーにさらば!! 美少女戦士

令和 8 年度入学生から変わる西高の制服。新制服選定に携わっておられる「制服検討委員会」の宮腰幸恵先生にインタビューした。

なぜ制服を変えることになったのですか。

令和 5 年 4 月の生徒総会で、「制服規則見直し」の要望が出され、気候変化や社会情勢の多様化を踏まえて検討。生徒・保護者アンケートでも現行制服への不満やブレザー型希望意見が多く、新制服導入を決定した。

現在の進捗状況について教えてください。

冬服のデザインは決定し、会議室にも展示中。夏服

アカデミックラボ 大学の講義を受講 開催

7 月 9 日の午後、1・2 年生を対象に「アカデミックラボ」が開催された。大学教員による 10 種の講義から 2 講義を受講し、学問への興味・関心を高める目的。生徒は真剣な表情で臨み、進路を考える機会とした。

秋田大学国際資源学部の安達毅教授による「資源とは何か? マスコミに見る資源のウソと本当」という講義は、ネット上に挙げられた「日本もレアアース泥開発でレアアース大国になれる」という記事に対し「地質技術、コスト面から資源と言えない」という内容だった。先生は情報記事を用いて情報の真偽を見極める力の大切さを強調された。

新 生徒会役員決定 意見箱設置を提言

7 月 16 日、第一体育館で生徒会新役員選挙が行われた。開票の結果、渡辺奏楓さん(2C)が信任投票で新生徒会長になった。渡辺さんが実行しようとしていることは「一つ目が意見箱の設置と定期的なアンケートの実施。二つ目がスムーズな行事の実施」だそうだ。「クラスメイトや先生方の不満の声をこの二つで無くそう」と考え、「皆さんの生活が楽しいものになるよう努める」と語った。



▲新制服案は 7 月 25 日の「学校説明会」で中学生向けに展示

特に入力して改良した点を教えてください。

自宅洗濯可能な素材を採用。女子制服はスカートに変更し、西高オリジナルのチェック柄を採用。男子もブレザーになり、色は明るめのグレー。ジェンダー配慮も意識している。

現制服 着用後に思うあれこれ 「変更」に活かしてほしい

「制服」についてのアンケート自由記述欄には、現制服の良し悪しに関する多くの意見が寄せられた。いずれも「現制服よりも良いものに変更するための参考にして欲しい」という趣旨のもの。勿論、好みや感覚には個人差があるが、特に記述の多かったものを取り上げる。

良かった点

- 汗の吸収が良くない、臭くなる
- ズボンが暑く、汚れやすい
- 胸元のボタンが開きすぎる
- デザインが地味で格好良くない
- 長袖ポロ、半ズボンが欲しい

良くなかった点

- 通気性があり、軽くて涼しい
- 着心地が良く、汗ばんでもごわごわしない
- 動きやすく、脱ぎ着がしやすい
- ポロシャツが楽で、ポケットが機能的
- 格好良く、シンプルなデザイン



男子夏服

女子夏服

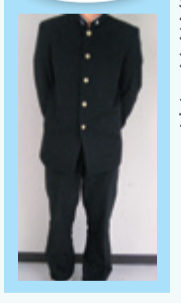
- 青色が個性的で他校にはない色とデザイン
- チャックで着脱が簡単、動きやすい
- 半袖と長袖の両方があり、すぐに着替えられる
- リボンの形や大きさがかわいいうる
- 汗が目立たなく、汚れがわかりやすい



女子夏服

男子冬服

- 中学校の服を利用して、経済的に家族に好評
- 中に何を着ても見えにくく体温調節しやすい
- 落ち着きある黒色はどんな場所でも着て行ける
- シンブルで首元まで暖かく、保温効果が高い
- ポケットが多く、生地が厚みがある。格好いい



男子冬服

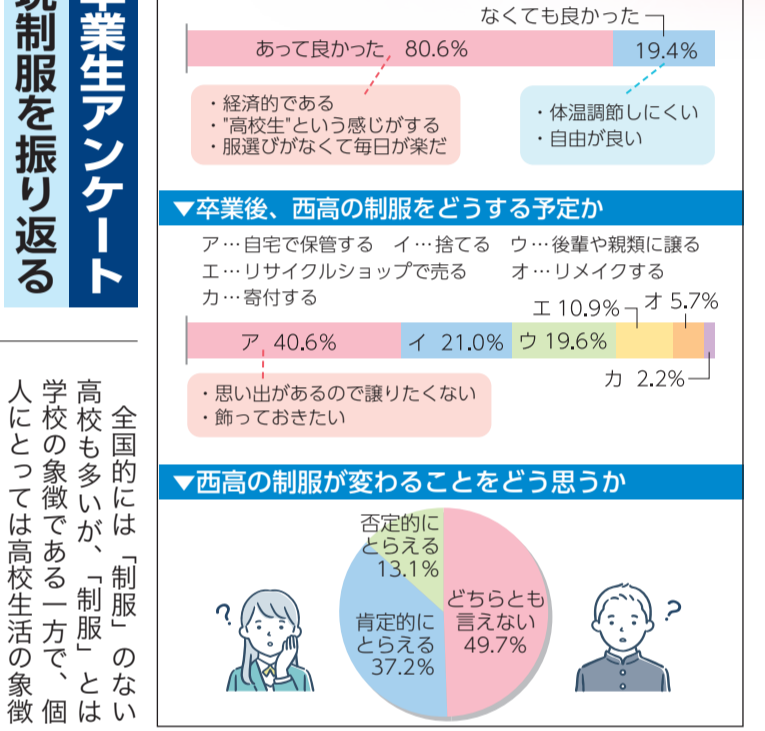
女子冬服

- シンブルで全体の統一感がある
- デザインの水色のリボンが全体の差し色になり、上品
- 生地が適度に厚くて着やすい
- ジャケットの下にいろいろ重ね着できる
- ポケットがあり、大きさもちょうどいい



女子冬服

卒業生アンケート 「制服」を振り返る



全国的には「制服」のない高校も多いが、「制服」とは学校の象徴である一方で、個人にとっては高校生活の象徴でもある。

そこで、「現制服」を 3 年間で着用し終えた令和 6 年度卒業生にアンケート調査をした。

「制服」は経済的

「制服があつて良かったか」という質問に対し、80.6%が「あつて良かった」と回答。その理由としては「経済的」、「高校生という感じがする」という意見が多かった。一方、「体温調節がしづらい」、「窮屈」な

「卒業後、西高の制服をどうするか」という質問には、「自宅保管する」が 40.6%と最多で、「思い出が蘇る」、「特別な感情がある」という声が目立った。「捨てる」が

どの理由で「なくても良かった」と答えた人は 19.4%。西高生の多くは制服を必要不可欠なものとして高校生活を送っているようだ。

卒業後の「制服」は?

「卒業後、西高の制服をどうするか」という質問には、「自宅保管する」が 40.6%と最多で、「思い出が蘇る」、「特別な感情がある」という声が目立った。「捨てる」が

先輩インタビュー

秋田県立大学 生物資源科学部 応用生物科学科 櫻庭 彩佳さん (2022年卒)

秋田県立大学・生物資源科学部・応用生物科学科は、専門分野の選択の幅が広いところ。1〜3年生までは植物、動物、微生物、食品と幅広く知識をつけることができ、それをもとに 4 年生で専攻したい研究室を選択できる。大学に入学してからでも様々な道を選べる部分。他大学と大きく違う点だと思えます。お酒を造ったり、

りんごを食べたりする実験もある。楽しく学べると思います。

授業がない日はアルバイトをしたり、「空きコマ」という授業を取っていない時間は友人と図書館で課題を終わらせたり、大学の外に出て、ランチを食べに行ったりして

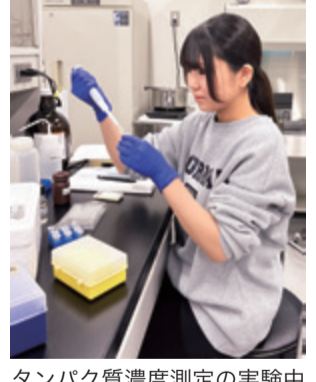
私の高校時代は、コロナ禍の真ん中だったので、楽しみにしていた行事ができなかったり、制限があったりしました。今でも「あの時コロナ禍じゃなかったらなあ」と考えるとときがあります。だからこそ、在学生の皆さんには行事は一生懸命取り組んで、思いっきり楽しんでほしいです。意見の食い違いや、思い通りにならないこともあると思います。でも、それも全部いい思い出です。高校生活はあつという間なので、悔いがないように過ごしてください。

選択幅の広い専攻分野

「肯定的」が 37.2%、「どちらとも言えない」が 49.7%、「否定的」が 13.1%と回答した。「制服の変更は寂しいが、卒業後なので実感がわかない」という中立的な意見が多い一方、否定的に捉える理由として「母校のイメージが変わる寂しさ」を挙げる人が多かった。特に「女子の夏服はインパクト大。これこそ西高。変更はショック」という声もあった。

21.0%、「後輩や親類に譲る」が 19.6%と続く。「リサイクルショップで売る」人も 10.9%いる。「寄付」は少数派だが、五城目町の「ボランティアアグリグループおさがり広場」の小林久美子さんによると、「西高の制服は現在二着ある」そうだ。

「西高の制服が変わること」をどう思うか」という質問に



タンパク質濃度測定の実験中